

平成28年度 環境スタディツアー-in 宇部 2016

受入・対応 報告書

平成28年10月14日

宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)では、宇部市環境政策課と共に長崎県対馬市より『環境スタディツアー-in 宇部 2016』の一行を受け入れて、2泊3日のスケジュールで宇部市の環境関連のさまざまな事柄を学んで貰う事業を宇部市から委託を受けて実施した。本報告書はその対応諸業務の概要を報告するものである。

1. 受入日時

日時 : 平成28年8月17日(水)~19日(金)

2. 対馬市よりの来宇部ツアー者(敬称略)

引率者 : 対馬市観光交流商工部 文化交流・自然共生課 阿比留課、新宮主任
エアートラベルつしま 永富マネージャー
対馬高校教員 溝上先生

ツアー参加者 : 8名(全員県立対馬高校女学生)(1年:3名、2年:3名、3年:2名)

3. 受入側対応者(敬称略)

宇部市 市民環境部 : 森次長、林課長補佐、岡本係長、原田課員

UNCCA : 溝田代表、太田

エスコーター ・初日 : 山口大学大学院 : 藤井、阿部

宇部フロンティア短大 : 辛山

梅光学院大学 : 下井(インターンシップ生)

山口東京理科大 : 吉永

・2日目:ふるさとコンパニオン : 脇

4. スケジュール・旅程概要

スケジュール・旅程は、概略以下の日程で実施された。

8月17日(水)	9:30	福岡空港到着(宇部市営貸切りバスを仕立てて UNCCA が出迎え)
	12:30	ときわ公園レストハウス到着(受入側全員で出迎え) レストハウス2階にて歓迎式典(森次長の歓迎の挨拶、阿比留課長の 応答挨拶及び関係者の相互自己紹介実施)
	13:00	レストハウス1階にてUNCCA及びエスコーターの大学生と共に昼食
	13:50	以下の順路でときわ公園内におけるスタディツアー開始 動物園巡回(常盤動物園協会:為近課長の案内)→石炭記念館 (学芸員による案内)→屋外彫刻鑑賞(学芸員による説明) 『蟻の城』前にて記念写真撮影
	16:00	ときわ公園出発宇部
	16:30	久保田市長を表敬訪問及び懇談
	16:40	市庁舎出発
	17:00	宿舎(宇部国際ホテル)到着

- 8月18日(木) 産業観光ツアー／大人の社会派ツアー《セメントの道》のほぼ逆ルートを辿り、以下の時間割で見学した。
- 8:45 宿舎(宇部国際ホテル)出発
 - 9:00 宇部興産グループ工場群(宇部スチール、ケミカル工場、セメント工場、コールセンター等)を車窓より見学
さらに、宇部興産機械(株)の屋上より、工場群を眺望し、産業興隆と公害克服の歴史を学習。その後、宇部興産大橋、宇部興産道路を經由して
 - 9:40 ダブルストレーラー整備場見学
 - 10:30 伊佐セメント工場及び石灰石採石場見学
 - 11:30 (黒谷口より入場して)秋芳洞見学
 - 12:15 昼食(食後、自由散策)
 - 13:30 秋吉洞出場、秋吉台へ
 - 13:45 展望台より秋吉台を眺望
 - 14:00 秋吉台出発
 - 15:00 Ube i-Plaza 見学
 - 16:30 宿舎(国際ホテル)帰着
- 8月19日(金) 8:30 宿舎ロビーにて森次長の挨拶の後、徒歩にて宇部市職員、UNCCA職員と共に渡辺翁記念公園を経て宇部新川駅へ。
- 8:40頃 宇部新川駅にて見送り。一行、宇部駅を経て博多へ。

・第1日目の主な行動・出来事

- ① 一行は飛行機、新幹線を乗り継ぎ、予定通りに福岡空港に到着したが、空港の到着時間の案内表示が“早着”と“遅延”が頻繁に入替り、出迎えの対応に右往左往した。
- ② 対馬からの福岡行便は到着ターミナルが南口であり、大型バスの駐車場から最も遠い位置にあった。(空港案内係を通じて管理者に問合せ、確認をとった上で、直近の路上にバスを呼寄せて待機し、ほぼ予定通りに空港を出発した。
- ③ 福岡空港から宇部への途上、九州自動車道で工事による交通規制に遭遇し、宇部への到着が40分程度遅延した。
- ④ レストハウス前にて宇部市市役所職員、UNCCA代表及びエスコーターの大学生が横断幕を携えて歓迎の出迎えを行った。
- ⑤ レストハウス2階にて市民環境部森次長の挨拶で、歓迎式典を開始。引き続き対馬側からも応答の挨拶があり、これに続いて両者の相互自己紹介を実施した。
(しかしながら、会場が貸切・独占ではなく一般開放の部屋の部分を利用した形であったため、室内は子供連れの一般客で混雑していて、少々騒がしく発言がよく聞こえなかったことが悔やまれる。)
- ⑥ 式典後、階下の焼肉レストラン“ボンボン”での昼食となったが、予約時間の遅れにより、スケジュールに見合った時間に席が確保出来ずにスタート時間が13時になってしまった。
しかし、エスコーターの方々が高校生に交じって一緒に食事をする事により、双方の親密度が増したと思われ、食事の段階からの同席は効果的だったと思える。

- ⑦ 食事後、ときわ動物園協会の為近課長の案内で動物園巡回。
 自然豊かな対馬からの高校生だから、動物園の巡回が興味を引くかと懸念されたが、「対馬では鹿やイノシシ以外の動物は見たことがない」という意見も聞かれ、甲高い声を出し続けるシロテナガザルやボンネットモンキー、ミーヤキヤット、カピバラやチリーフラミンゴなど、一行にとってどれも興味深いものの様であった。「into the wao」と称するワオキツネザルの飼育エリアへ入場して直接動物と触れ合った時には多数のシャッター音が聞かれ、動物飼育の苦労話や、自然環境に近いサルの飼育ゾーンや、工夫を凝らした見学通路に感心していた。
- ⑧ 石炭記念館では宇部の歴史に深い関わりのある石炭の話聞きながら、坑道を模した地下室と2階の展示物を見学して廻ったが、全体的なスケジュールの遅れにより見学時間が限られ、十分な説明を受けられなかった。(予定していた展望台からのときわ公園や宇部の街全体を眺めての宇部の街の成り立ちの説明は中止になった。)
- ⑨ 当日は炎天下で、公園内の徒歩による移動には厳しいものがあつたので、熱中症対策を兼ねて、記念館からミュージアムの移動の途上、出会いの広場で宇部職員による冷茶と“宇部元気ブランド”の菓子による接待を受けながら、エスコーターとの懇談を兼ねた休憩をとった。
- ⑩ スケジュールの遅延が積み重なり、ときわミュージアムでは殆ど野外彫刻の解説を受ける時間がなかったが、学芸員から宇部ビエンナーレの概要と最も有名な野外彫刻“蟻の城”の説明を受けて、同彫刻の前で記念撮影をした。
- ⑪ ときわ公園の見学を終えて、市役所に行き、久保田宇部市長を表敬訪問し、質疑応答を含めて、貴重な懇談の時間を過ごした。
- ⑫ 第1日目のすべての見学・学習を終え、宇部市内宿舎(宇部国際ホテル)に向かい、炎天の中、宇部到着の遅れというハプニングに引きずられながら無事第1日目の行事が無事、終了した。



レストハウスでの歓迎式風景



昼食(エスコーターとの懇談)



動物園で解説を聞きながら



ワオキツネザルにご挨拶



石炭記念館(坑道模型)見学



出会いの広場での休憩



“蟻の城”前で記念撮影



宇部市長との記念撮影

第2日目の主な行動・出来事

- ① 第2日目は、宇部市ふるさとコンパニオンの会会長(脇氏)のガイドで宇部興産㈱の化学工場、セメント工場、発電所、コールセンターなどの工場群を車中からゆっくりと見学した。セメント工場前では、バスの窓を開けてセメントキルンの高温を肌で体験した。また、工場ヤード内道路の広さやその道路に市バスの停留所があるのに驚いていた。
- ② また、宇部興産機械㈱の社屋屋上に上がり、広大なコールセンターや工場群全体を眺めながら、宇部の街の発展や公害克服の歴史を学んだ。(これは当初の予定に入っていなかったが、受入側と交渉し、了解を得て実施した。)
- ③ 宇部興産大橋を渡り、専用道路に入り、すぐにダブルス・トレーラーの整備場を見学した。70トン積みのダブルス・トレーラーの用途や性能の説明を受けながら、偉容な姿を誇るトレーラーに見入り、運転席に乗り込んで写真を撮ると共に、全員で記念写真を撮った。
- ④ 整備場を出て、何台かのダブルス・トレーラーとすれ違い伊佐セメント工場に到着。工場案内者と共に、車中からセメント工場のセメントキルンやダブルストレーラーへの原材料の積込み風景を見学し、最後にセメント原料である石灰石の採石場を見学した。採石場ではバスよりも大きなダンプトラックが小さく見える程大きな穴が階段状に掘削されていて、底には真っ青の雨水がたまっているのが見え、スケールの大きさと美しさに一同、眼を見張った。
- ⑤ バスは工場を出て秋吉洞に向かった。対馬側ガイドの推奨に基づき、予定を変更して黒谷口からの入場となった。また、参加者が全員女学生であり、制服姿によるツアーであることを考慮して予定を変更して“冒険コース”を取り止めて、“一般コース”の見学とした。
- ⑥ 折からの炎天下で、洞内の涼しさが極めて気持ちよく感じられ、黒谷口からマリア観音、岩窟王、大仏岩、黄金柱、千畳敷、傘づくし、千町田、百枚皿と、時々天井からのしずくをかぶりながら洞内の主だった場所を見て行き、秋芳洞正面入口側に出て、見学を終えた。
- ⑦ “安富屋”の2階で昼食を取り、食後の自由時間を利用して土産物店の立ち並ぶ沿道を散策した。
- ⑧ その後バスは秋吉台に向かい、カルスト台地の眺望を楽しみ、ここで記念写真を撮って、往路と同じ道を引き返し、宇部興産専用道路を経由して宇部興産㈱のUBE-i-Plazaに到着した。
- ⑨ プラザでは、対馬出身の説明員が対馬からのお客様という事で、一層熱を入れて説明し、一行は“石炭産業から出発して、総合化学企業へと歩んできた宇部興産の歴史や汚泥、廃木材、廃プラスチック、廃油、石炭灰など様々な廃棄物をリサイクルして工業製品化して社会に貢献している姿を熱心に学んだ。

第3日目の主な行動・出来事

- ① 第3日目は、主だった受入側関係者(宇部市役所及びUNCCA)が宿舎の宇部国際ホテルに参集し、ここで市民環境部の森次長が見送りの挨拶を行った後、渡辺記念公園を経由して徒歩で宇部新川駅に向かった。その後、一同は駅で見送りを受けて、宇部駅を経由して博多駅に向かった。



宇部興産機械(株)屋上にて



ダブルストレラー整備場にて



伊佐セメント工場採石場にて(1)



伊佐セメント工場採石場にて(2)



秋芳洞・黄金柱前にて



秋芳洞正面入口前 記念写真



秋芳洞・黄金柱前にて



宇部興産(株)本社前にて